

ミズゴケ科

# ハリミズゴケ

*Sphagnum cuspidatum* Hoffm.

兵庫県ランク… A

環境省ランク… -

## ■ 県内分布

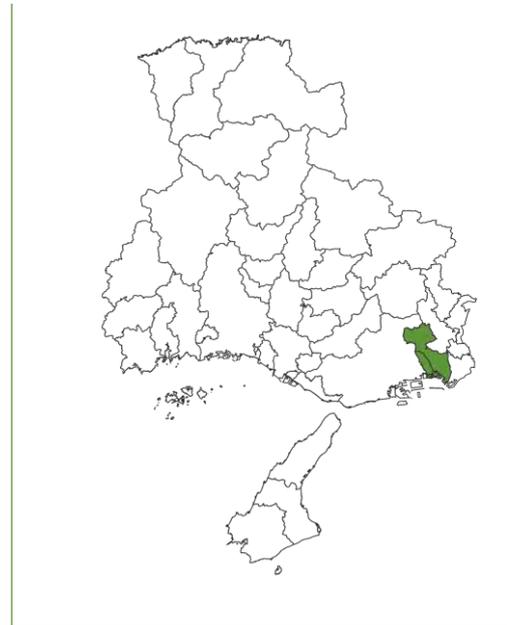
西宮市、芦屋市

## ■ 国内分布

北海道、本州、九州

## ■ 選定理由

人為性	特殊性	学術性
生育環境破壊	特殊生育環境	特殊な分布
観賞用等採取	特異な生態	分布の限界
		希少
		○



## ■ 特記事項

六甲山系東部の2カ所での生育を確認したが、オオミズゴケとの競争のためか、ともに生育は良くない。乾燥化には注意が必要。



写真提供:秋山弘之

## ■ 保護上の留意点

-

## ■ 種の概要

植物体の大きさには変異があり、繊細なものからやや大型のものまである。茎葉は舌状三角形、先端はやや鋭頭で鋸歯がみられる。茎葉の脈は幅広い。枝葉は長卵形、上部の縁は内曲し、先端は細長くとがる。透明細胞は楕円状線形で、孔は無いが、あるいは偽孔。横断面で葉緑細胞は三角形、底辺は背面側に現れる。葉縁には3-8細胞列の脈がある。雌雄同株(異苞)または異株。中間から高層湿原の池塘の水辺に生育する。